

## スズメの子育て観察日誌 (2011年 春)

3月30日

東日本大震災の報道が続く中、スズメのカップルが庭の桜の木に掛けた巣箱の居心地を確かめている。去年の春、この巣箱でシジュウカラが巣立ったので、また楽しみにしていたが、今年はスズメが先に入居するようである。



居心地はどうか？



OKです。

4月3日

スズメの番は巣箱が気に入ったようで、わらのようなものをせっせと巣箱に運んでいる。



4月8日

巣作りのかたわら、今日は近くの枝の上で子作りに励んでいる。  
何度かトライしたのち、「やったぜ!」のポーズを見せてくれた。



4月11日

東日本大震災の発生から一ヶ月となるが、「広がる原発被害」、「不明なお1万4608人」などの新聞記事が続いている。スズメさんは巣作りを続ける一方、電線上でも愛の交換をやっている。

4月17日

八重桜が咲き始めた。まだ卵を抱いている気配はない。

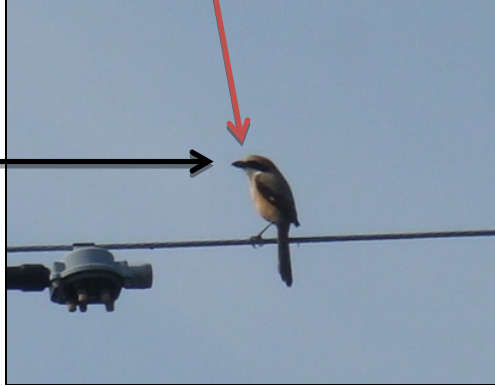
親スズメ





4月25日

八重桜は満開になった。今までは番でお出かけしていたが、一羽は巣箱にいる時間が増えてきた。抱卵しているようである。巣箱へ入るときは周囲に注意し、百舌鳥などへの警戒を怠らない。この百舌鳥さんは私の家がお気に入り、よく姿を見せてくれる。スズメを狙っているようだが、今はおとなしくしてほしい。 百舌鳥



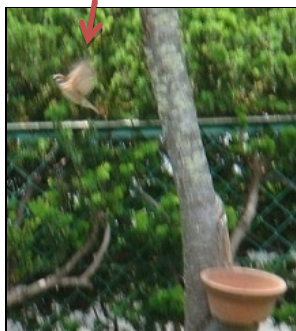
5月4日

桜花は散り、新緑の季節になった。スズメさんは交互に巣箱を出たり入ったりしている。くちばしを見ると何かをくわえている。ヒナに餌を運んでいるようだ。



5月6日

親スズメは1時間に20~30回くらい虫のような餌を運んでいる。親鳥を応援するため、パンや孫のために買っておいいたウエハスなどを植木鉢や魚釣り用の餌箱に入れ、近くに置いた。スズメさんはそれを巣箱へせっせと運んでいる。



5月10日

庭の芝生の緑も濃くなってきた。親スズメはヒナへの給餌やパンくずのお相伴にあずかろうと他所からやってきたスズメとのバトルに忙しい。巣箱の入り口から餌をねだるヒナのくちばしが覗くようになってきた。



5月19日

ヒナは二羽のようだ。巣箱から乗り出すように親鳥から餌をもらっている。巣立ちが近い。



5月20日

巣箱にヒナの様子がない。よく見ると庭先で巣立ったヒナが親鳥から餌をもらっていた。



ヒナ 親 ヒナ



ヒナ 餌を与える親

ヒナの無事な巣立ちを迎え、めでたし、めでたしである。

親鳥は次の子育てのため、桜の木の上でまた愛の営みに励んでいる。